

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

学年の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	技術科ガイダンス 技術の発展 材料の基礎	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。
7 9 10 11 12 1	作図 工具について 木材の加工	製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
2 3	社会の発展 と材料加工	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。	材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
評価方法		定期テスト 技能の習得状況 (作業の様子・作品の出来)	定期テスト 作品への工夫 グループでの話し合い	振り返りによる自己評価 粘り強く学習へ取り組む姿勢

学習の進め方

- ・ 1 週間に 1 回の授業のため、忘れ物には十分に気を付け、作業や課題に集中して取り組みましょう。
- ・ 実技に関しては、実技テストや机間指導による技能のチェックを行いましょう。
- ・ グループワークを中心とした作業の協力体制を大切にし、お互いがサポートし合いましょう。